

月間報告書 2022年9月分

学籍番号 留学先
氏名 留学期間 2022/09/20~2023/03/19
年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

9月の教育編は入力がありません

II. 授業内容

9月の教育編は入力がありません

III. 生活編

【ビザ申請】私はこのビザ申請にかなり振り回され、精神を削り取られました。最近導入されたらしいuniversitalyには要注意です。自分で会員登録から入学申請まで行い、入学申請のsummaryを日本の領事館に提出しなければならないのですが、領事館の方に「universitalyであなたの情報を確認ができないから申請は受理できません」と一度目の申請で帰らされることがありました。たまたま領事館に居合わせたトリノ大学に留学する他大学の方も同じ理由で申請却下されていました。大阪の領事館の方はかなり冷たい態度だと聞いていたので、ひるまずに“なぜ確認ができないのか”、“私は確かに申請した”と証拠（そもそもsummaryを出力できていることが何よりも証拠なので。）とともに答えると、やっとその理由を話してくださいました。自分が申請していても、留学先の大学がそれを承認しないと領事館で私の情報が確認できない仕組みなのだそうで、留学先大学に承認してもらってくださいとのことでした。急いでトリノ大学の国際部にメールを送り、電話をかけ（ずっと通話中でしたが）、なんとか承認を得て再度領事館に申請すると、今度は受理してもらえました。受付の方に冷たく申請を却下されても、無理やり帰らされそうになっても、めげずに自分の疑問点は必ずそこで解消することをおすすめします。解決策が分からなければ同じことの繰り返しですし、しっかり話をすればきちんと答えてくださり、解決策も教えてもらえます。

【入国時】関西空港からパリ経由でトリノに向かう便でした。直接向かうとトリノに23:00に到着するため、パリで一度空港を出て近くのホテルに宿泊し、翌朝トリノに向かいました。トリノ空港までホストファミリーが車で迎えに来てくれたのでとても助かりました。

【滞在許可書】申請用紙一式を郵便局でもらい、Tabacchiで収入印紙を買い、書類を記入して郵便局に提出しました。次はQuesturaに指紋を取りに行かなければならないのですが、混みあっているのか12月中旬に行くよう言われたので滞在許可書が完成するまでイタリアにいるのか不安です。滞在許可書が完成するまでにEU圏内で移動する場合は申請時にもらった控えがあれば代わりになるそうです。

【生活】トリノ大学には州管轄の学生寮があり、それを利用しようと思っていたのですがコロナ禍の影響か空きがなく、自力で住む場所を見つけなければならなくなりました。紆余曲折あり結果的に、先にトリノに留学していた友人がお世話になっていた大家さんの自宅にホームステイという形で紹介してもらいました。ホストマザーはとても早口で最初はイタリア語を聞き取るのにとても苦戦しましたが、1週間経つと慣れてきてコミュニケーションを楽しめるようになりました。

買い物をする際も店員さんと会話をする余裕が出てきて、イタリア語を覚えてもらう度にもっとうまくコミュニケーションができるようになりたいと強く思うようになりました。これまで勉強してきたことを自信をもって発揮できるよう、たくさんアウトプットしていきたいです。

時間があるときはcentroを散歩しています。毎回新たな教会や広場を見つけるので飽きないです。9月の終わりは友人とTerra Madreというフードフェスティバルに行ったり、ミラノに観光しに行ったりしました。ミラノから帰るときにitaloが90分遅延していましたが、早めにSMSとメールで知らせてくれていたので結果その分長くミラノを楽しめて不幸中の幸いでした。

トリノのバスやトラム、地下鉄はGTTという会社が一括して運営していてその1カ月定期を作ったのですが、長くなってしまったので手順は10月分の報告書に書こうと思います。

月間報告書 2022年10月分

学籍番号 留学先
 氏名 留学期間 2022/09/20~2023/03/19
 年次 4年次 留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	STORIA DELL' ARCHITTURA E ITINERI TURISTICI	建築の歴史と観光	1440	授業
2	REGION EUROPE	ヨーロッパ地域	960	授業
3	CORSO DI LINGUA ITALIANA PER GLI STUDENTI ERASMUS E INTERNAZIONALI IN MOBILITÀ	留学生のためのイタリア語講座	480	授業

II. 授業内容

No. 1

イタリア人学生向けの授業を受けてみたいと思い履修しました。教授の説明は速く毎回メモを取るのに必死で大変ですが、内容がとにかく興味深いです。ヨーロッパ建築の歴史、構造やその仕組みについて学ぶと今までなんとなく見てきた教会が全く違うものに見え、観察する視点が増えて面白いです。たまにイタリア人としての一般教養を問われる質問に対してまわりが理解していても自分はわからないということがあるのがネックですが、教授が丁寧に説明してくださるのでなんとかついていけています。

No. 2

主にイタリア各地から、時には世界の様々な大学から講師の方がいらっやっやって、英語でヨーロッパ社会について様々な視点から学べる留学生向けのオムニバス形式授業です。自分の取りたい単位数に合わせて授業数を調整できるので、他の授業とも両立できるのが魅力です。講師は毎度変わり、ほとんどがイタリア人なので英語の訛りが強くて聞き取るのが大変ですが、なんとか頑張って受講しています。受講生のほとんどがエラスムスなのでヨーロッパの基礎知識がある前提で進められる理解に苦しむ授業中にはありました。日本の他大学の留学生も数名受講しています。

No. 3

私はintermedioかavanzatoのどちらのレベルにするか悩み、双方のクラスの先生にひとまず連絡して先にavanzatoの入室テストを受けました。すべて記述式で、長文穴埋めと最後に作文という問題構成だったので、長文の内容が体感イタリア語検定1級に匹敵する難しさでした。これはついていけないと思い、intermedioにしようと思っていたところでavanzatoの入室テストに合格した連絡を頂いたので、せっかくだと思いavanzatoに挑戦することにしました。基本的な文法は習得していることが前提で、周りはヨーロッパの学生しかいません。

今月は接続法、仮定法をおさらいして、それをベースに毎授業で簡単に討論をするという流れです。様々な国の話や意見を聞けるので視野が広がって面白いです。周りのみんなはなかなか流暢に話せるので自分の未熟さを痛感します。

III. 生活編

【生活】イタリアでの生活にも慣れてきました。今月は初めにイタリア語検定を受験するため、9月に続き2度目のミラノへ今度はひとりで行ってきました。試験が午後からだったので朝9時には到着してDuomoから観光してまわったのですが、朝は人が本当に少なくて閑散としていたのでゆっくりできました。10月の終わりには友人のいるベルガモへ行って案内してもらいました。トリノやミラノとは違って落ち着いた広々とした雰囲気でもとても気に入りました。

10月の初めには大学で留学生向けのウェルカムデーがありました。大講義室で大学の話や様々な団体の活動内容を聞いて、最後にクイズ大会が開催されるという流れでした。クイズの結果が良かったので、賞品としてSupergaという丘へ登れるトロッコの往復チケットをもらえました。その後はPo川でRegataという大学対抗の競艇が開催され、ブラスバンドが演奏しながら大通りを歩いていたり大盛り上がりでした。

ホストマザーとの関係も良好で、相槌や返事することに慣れてうまく会話できるようになってきました。褒めてもらうたびまたさらに頑張ろうと前向きに勉学に励むことができます。

体調面では、街の空気質が非常に悪く、喉を2週間ほど痛めました。他の日本人留学生のみんなも同じ症状を訴えていたので余程悪かったのだと思います。熱もなく、日本から持参した風邪薬も効かなかったため、ただ温かいものを摂るようにしていました。

【GTT 定期券の発行】9月分の報告書に書ききれなかったトリノの交通定期券についてです。トリノのバスやトラム、地下鉄はGTTという会社が一括して運営しているのですが、調べていると定期券を作れることが分かったのでPorta Nuova駅のオフィスで定期券を作りました。既に長蛇の列ができていて、スマホの専用アプリで事前に受付予約できることは分かっていたのですが、何とかなるだろうと思って行って結果1時間半並んだので少し後悔しました。ですが後ろに並んでいた同世代のイタリア人の女の子と話していると、どうやら彼女はアプリが正常に作動していなくて予約できなかったそうなのでどちらにせよ並ばないといけなさそうです。係の人に定期券の発行方法を尋ねたところ1か月定期はオンラインでしか申し込みられないようで、

①まずGTTのサイトで会員登録

②オフィスでtassera bipというカードを発行してもらおう(顔写真付きのICOCAのようなものです。発行に3ユーロかかりました)

③GTTのサイトにログインして定期券を購入

④使える日付になったら専用の機械で有効化する(詳しくは購入後送られてくるメールに書かれています)という手順でした。本当にオンラインで支払っただけでカードに情報が反映されているのか半信半疑でしたが、きちんと作動しているので一安心です。私が購入したのは、Under 26の1か月25ユーロでGTTのバス・トラム・地下鉄が乗り放題の定期です。1年定期も存在しますが、tassera bipの発行方法が郵送のみと異なるので詳しくは店員さんに尋ねてください。

月間報告書 2022年11月分

学籍番号

留学先

氏名

留学期間 2022/09/20~2023/03/19

年次 4年次

留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	STORIA DELL' ARCHITTURA E ITINERI TURISTICI	建築の歴史と観光	600	授業
2	REGION EUROPE	ヨーロッパ地域	840	授業
3	CORSO DI LINGUA ITALIANA PER GLI STUDENTI ERASMUS E INTERNAZIONALI IN MOBILITÀ	留学生のためのイタリア語講座	840	授業
4	Lingua Giapponese Magistrale Prima Annualità	中上級文法・ビジネス日本語 修士課程1年	780	授業
5	LETTERATURA GIAPPONESE (Annualità unica)	「日本文学 修士」	180	授業

II. 授業内容

No. 1

今月はルネサンス建築や、その当時活躍した建築家について学びました。

No. 2

先月と特に変わりません。

No. 3

今月は人の性格を表す形容詞、受動態、代名動詞について勉強しました。

No. 4

大学院1年生向けの日本語の授業です。週2回授業があり、火曜日は文法について、木曜日はビジネス日本語について学んでいます。院生の授業なので既に3年間日本語を学んだ生徒が集まっていて、それをベースに授業が進められていきます。教授の説明はイタリア語の方が多いので、その方が勉強になって面白いです。ビジネス日本語の授業では、日本での就職活動について敬語の基礎から自己PRの作成方法などを学び、自分の就職活動を思い出してとても懐かしかったです。これから就職活動始める日本人留学生にとっても役に立つ授業だと思います。

No. 5

④の授業のみんなに誘ってもらって、途中から参加しています。私でも読みにくいような一昔前の癖のある日本文学をイタリア語に翻訳していく授業です。事前に配られた資料を授業までにイタリア語に翻訳したものを各自用意し、授業で担当が割り振られて順番に自分の翻訳を発表、それをみんなで議論しながらより良いものに仕上げていくという内容です。一コマ180分と長丁場ですが、面白くてあっという間でした。特に、みんなの翻訳がイディオムなどを含んでいて、わからないものは友達に尋ねながら授業を受けていますが、生きたイタリア語を学べてとても面白いです。初めから受けておけばよかったと思いました。

III. 生活編

今月の初めはチョコレートフェスティバルが10日間開催されていたので何度か訪ねました。チョコレートの量り売りや、ドーナツ、ワッフルといったスイーツなどいろんなジャンルの出店が並んでいて何度行っても飽きませんでした。

院生の授業のみんなとアペリティーボをしたりするのですが、みんなはイタリアの各地からトリノに集まっていてよく方言について議論しているのが聞いていてとても面白いです。日本語で話したり、イタリア語で話したり、言語を交えて会話しているのでとてもいい練習になります。

また、美術館や博物館、宮殿に1年間入り放題のパスを作りました。学生は32ユーロで購入でき、対象はトリノ市内だけでなくピエモンテ州内の施設にも及ぶのでとてもお得だと思います。早速5回ほど利用しました。

11月後半には5日間マルタ旅行をしました。初めてライアンエアーを利用したので不安でしたが、預入荷物なしだと片道15ユーロほどで済み、特にトラブルもなかったので、本当に手軽に旅行できるんだなと実感しました。マルタは見るものすべてがイタリアとは全く異なり、景色はもちろんその文化にも魅了されました。

月間報告書 2022年12月分

学籍番号

留学先

氏名

留学期間 2022/09/20～2023/03/19

年次 4年次

留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

No	履修科目(原語名)	履修科目(日本語名)	受講時間数(分)	授業形態
1	CORSO DI LINGUA ITALIANA PER GLI STUDENTI ERASMUS E INTERNAZIONALI IN MOBILITÀ	留学生のためのイタリア語講座	700	授業
2	Lingua Giapponese Magistrale Prima Annualità	中上級文法・ビジネス日本語 修士課程1年	660	授業

II. 授業内容

No. 1

今月は接続法、代名動詞、直接・間接目的語を伴う動詞について勉強しました。半ばには最終テストがありました。

No. 2

先月と特に変わりません。

III. 生活編

【生活】今月は先月に比べてそれほど授業が忙しくはありませんでしたが、卒業研究を完成させるため前半はバタバタとしていました。

授業が終わってからはアオスタやジェノヴァ、チンクエッテッレに日帰り旅行に行きました。チンクエッテッレは土産屋も充実しており、景色だけでなく買い物も楽しめたのでとてもおすすめです。

【Questura】9月に滞在許可書を申請してから2カ月半、指定日が12月の半ばだったので、やっとQuesturaに指紋を取りに行きました。1週間先に行った友人から、12月の寒さの中屋外で2時間、屋内で3時間待ったと聞いていたので覚悟して行きましたが、私は運よく屋外で並ぶこともなく、屋内でも2時間の待ちのみで済みました。ただ、屋内でもかなり冷え込んでいたので防寒対策は必須です。受付の対応もかなりひどいと聞いていましたが、私が関わった人は全員優しく対応してくれました。滞在許可書が完成する頃には帰国しているのが残念ですが、経験として行って良かったと思います。

月間報告書 2023年1月分

学籍番号

留学先

氏名

留学期間 2022/09/20~2023/03/19

年次 4年次

留学区分 派遣留学

I. 受講時間数

1月の教育編は入力がありません

II. 授業内容

1月の教育編は入力がありません

III. 生活編

【生活】年始はミラノ、ローマ、ヴェネツィアに旅行に行きました。元日ということもあってか、ミラノのドゥオーモ前の広場には物売りがたくさんいて声をかけられて大変でした。ローマはどこを歩いても古代ローマの面影が残っていてとても新鮮でした。ヴェネツィアはいつもイタリアの中でもひどい大気汚染の予報が出ているのですが、そのせいか旅行後発熱はないのど・鼻かぜをひきました。鼻かぜは完治に2週間ほどかかりました。

かぜが少し収まったタイミングで、冬のセールがはじまったのでイタリア最大級のアウトレットへ行きました。月曜日だったので比較的人也少なくてゆったりと買い物できました。セールはじめてでもかなりの割引率なので、イタリアでブランド品を購入したいと考えている人にはぜひ訪れてもらいたいです。

その後フィレンツェとピサに観光へいき、帰国1週間前は数日に分けて現地の友人とお別れのあいさつを兼ねて出かけました。日本語の授業で仲良くなった友達は来年日本に留学しに来れるかもしれないとのことで、次は日本で会えるのが楽しみです。

【滞在許可書について】12月の中旬にQuesturaに行っちょうど1ヵ月経過した1月中旬に、SMSで滞在許可書が完成したと連絡が来ました。私は既に帰国していたので受け取りに行くことは叶いませんでしたが、実際に受け取りに行った友人の話や指紋採取の際よりも待たされ、平均6~8時間ほどかかるのだそうです。半年留学では滞在許可書を受け取ることなく帰国せざるを得なさそうです。

【最後に】4ヵ月間のイタリア留学は本当にあつという間でした。カルチャーショックを目の当たりにしたり、帰国したいと思うような出来事もありましたが、振り返ってみるとそれらを乗り越えられるほど楽しい思い出でいっぱいです。今後も旅行や仕事でイタリアに必ず戻りたいと思うほどです。留学前の自分と比べると価値観が本当に広がり、自分の行動力に自信をもって積極的に行動できるようになりました。

イタリアは食も景観も建築も美術も何もかもが魅力にあふれています。もしイタリア留学に悩まれている方がいたら、ぜひ勇気を出して挑戦してほしいです。現地では楽しめることももちろん間違いありませんし、日本では経験できない様々なハプニングを乗り越えることで、行動力が身につくイタリア語だけでなく人間としても成長できます。

私の月間報告書が皆さんの参考になれば幸いです。ありがとうございました。